
CHEER ? ~葉月~

LiN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

CHEER ?~葉月~

【作者名】

IZUMI

【あらすじ】

校舎にて。葉月がみたもの

お兄ちゃんは下を向いて廊下を歩いていた。お兄ちゃんとすれ違ったクラスの男子ふたりが振り返って指を差している。

すれ違う私の同級生たちは、面と向かっては見ないものの、気になつてゐるようで、ほとんどの子がお兄ちゃんとすれ違つと振り返る。私は足早にお兄ちゃんの横を通り過ぎたが、すれ違う瞬間に視線がお兄ちゃんに引き寄せられた。白い体操服のシャツと、その裾に隠れて白いパンツが見えた。お兄ちゃんは唇をぎゅっと噛み締めていた。

「ズボン履いてなかつたよね…」

「どうしたんだろう…」

「あれ葉月のお兄ちゃんだよね…」

クラスの女子がヒソヒソ話すのが聞こえた。

校庭から笛の音が聞こえる。

どれがお兄ちゃんか、二階の私の教室から見ても一目で分かつた。体操服に短パンの同級生に混じつて、下着姿のお兄ちゃんは列に並び、体操をしている。

保健室の斎藤先生が笛を吹いている。

お兄ちゃんは下半身を手で隠すこともできず体操をしていた。

さつき授業がはじまつてすぐ、お兄ちゃんはみんなの前で泣いているようだった。

次は私達が運動場で体育の授業。お兄ちゃんのクラスの教室の前を通り。

お兄ちゃんの教室の前は他の学年の人たちが、休み時間のたびにお

兄ちゃんを覗きに来るので異様に人通りがある。

私と歩いている同級生も、歩調を緩めて教室を覗く。私は早く通り過ぎたいからそうしたつもりなのに、ゆっくりと私の田には下着姿のお兄ちゃんが写った。

お兄ちゃんは椅子に座り、教科書を開いて下を向いていた。体育の授業を終えたお兄ちゃんのパンツのお尻は、砂で汚れていた。周りにクラスの人はいない。ひとりだけ下着姿のお兄ちゃんに、友達も声をかけづらいのだな。

「かわいそう・・・」教室を覗いた同級生がつぶやく声が聞こえた。

小学生低学年のころから、お兄ちゃんと真由ちゃんは仲良しで、真由ちゃんはよくうちにお泊りにきた。

その日も真由ちゃんは私とお兄ちゃんの部屋で寝ていて、私と真由ちゃんは同じ布団で眠りについていた。朝起きたら布団が濡れてい、大きなシミが描かれていた。私はオネショをしてしまったのかと慌てたが、隣から私の布団で一緒に寝ていた真由ちゃんが「ごめんね、ごめんね」と泣く声が聞こえてきた。パジャマの前をぐつしょりと濡らして泣きじゃくる真由ちゃんと、優しく真由ちゃんの頭をなでるお兄ちゃんが田に入った。

お兄ちゃんは真由ちゃんと私のパジャマを洗濯して、布団を干してくれた。

「お兄ちゃんのバカ・・・」

小さく呟き、私は足早に運動場へ向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6450y/>

CHEER ?～葉月～

2011年11月19日20時29分発行